

T O P I C S

大韓民国の国立獣医科学検疫院と 研究協力覚書を締結

動物衛生研究所（動衛研）は、平成19年9月18日に大韓民国の国立獣医科学検疫院（NVRQS; National Veterinary Research & Quarantine Service, Republic of Korea）と研究協力覚書（MOU; Memorandum of Understanding）を締結した。調印式のために、大韓民国からNVRQSのMun-Il Kang 所長とYoun-Jeong Lee 室長、Seong-Hee Kim 研究員の3名が来日し、9月18日午後に動衛研で式典が執り行われた。式典には、動衛研所長・部長・研究管理監等幹部、業務推進室、関係研究チーム長やチーム員等の約20名の出席があり、動衛研の谷口所長とNVRQSのKang所長の挨拶の後、MOUの調印・交換（写真）がなされた。

両所長の挨拶では、両研究所は日韓において、国家レベルで家畜衛生に関する診断と防疫法の開発研究を担っている研究所で、近年、重要家畜伝染病の発生に際して分離病原体やその遺伝子情報等の交換を通して

協力関係にある。今後対等な関係で研究協力することが両国の家畜衛生問題を解決する上で重要であると述べられた。このMOU締結を基に、動衛研とNVRQSは口蹄疫、鳥インフルエンザ及びアルボウイルス感染症等のサーベイランス、診断及び防疫法の開発に関する共同研究を強化することとなった。

（山口成夫研究管理監）



写真 NVRQS : Mun-Il Kang 所長と当所谷口稔明所長

タイ国のマヒドン大学獣医学部と 研究協力覚書を締結

動物衛生研究所は、平成19年9月12日にタイ国の国立大学、マヒドン大学獣医学部と研究協力覚書（MOU; Memorandum of Understanding）を締結した。調印式は、マヒドン大学獣医学部からはWantanee 学部長等約45名の職員と学生、動物衛生研究所からは山口研究管理監、西藤人獣感染症共同研究センター代表等5名の研究者が参加して、9月12日にマヒドン大学獣医学部で執り行われた。

マヒドン大学は、1943年創立の医科大学に端を発する国立総合大学である。獣医学部は、10年ほど前に設置された新しい学部で、バンコク市の西側に接するナコンパトム県に所在する広いキャンパスにあり、充実した施設の活気あふれる学部である。

動物衛生研究所は、マヒドン大学とはこれまで、

タイに設置した研究拠点の人獣感染症共同研究センターを通して、野鳥から分離された高病原性鳥インフルエンザウイルス解析で協力関係にあった。今後は締結したMOUに従い、具体的な研究課題を提案し、共同研究を強化する予定である。

（山口成夫研究管理監）



写真中央左下 マヒドン大学獣医学部 Wantanee 学部長
中央右下 筆者